

(区社協独自助成)

(様式1-1)

令和8年度 旭区社会福祉協議会助成金 申請書
【あさひ子どもの未来応援助成金】

令和〇年〇月〇日

社会福祉法人横浜市旭区社会福祉協議会

会長 様

記入例

申請団体	ふりがな	あさひ☆ちいきこどもしょくどう		ふりがな	あさひ はなこ
	団体名	旭☆地域子ども食堂		代表者氏名	旭 花子
	代表者	住所	〒241-0022 旭区鶴ヶ峰1-6-35		
		電話	090-1234-〇〇〇〇	FAX	045-392-0222
	ふりがな	よこはま たろう		電話	090-5678-〇〇〇〇
連絡担当者	横浜 太郎		住所	〒241-0022 旭区鶴ヶ峰〇〇-〇〇	

次の助成金について申請いたします。

申請金額 ￥ 60,000

＜申請区分＞ ☒年 10 回以上(月 1 回程度) ☐年6～9回
☐新規立ち上げ

＜申請内容＞

※あさひふれあい助成金を申請する場合、〈申請内容〉は記入を省略することができます。

【重複申請の場合☒チェック⇒ ☐】

活動の事業名	旭☆地域子ども食堂
事業の概要 および目的	広く子どもを含む住民を対象に、安価な価格で食事を提供する地域子ども食堂の開催により、誰でも気軽に集うことができ、地域の中でのつながりを作るきっかけ作りや見守りの場となるような居場所となることを目的とします。 子ども50円、大人300円でカレーを提供します。
対象者	子ども(未就学児、小学生、中学生、高校生)を含む地域住民 (普段一人でご飯を食べている子、生活にお困りの子育て世帯、孤立しがちな一人暮らし高齢者などに来てもらいたい)

実施時期 および回数	月1回程度 年13回開催予定。毎月第3土曜日11時～14時。 ※夏休みは2回実施。
開催場所	〇〇地区センター
1回あたりの 参加者数	内訳として子ども的人数も記載。 1回あたり30名(うち、子ども10名)を想定
担い手	ボランティア20名程度
事業の周知方法	・連合自治会に周知依頼し、回覧板・掲示板にて周知。 ・地区内の小中学校、幼稚園、保育園にチラシの掲示を依頼。 ・Instagramの活用。

※開催予定の事業のチラシや企画案を申請書と一緒にご提出ください。

＜収支予算＞

※あさひふれあい助成金を申請する場合、〈収支予算〉は記入を省略することができます。

収入	科目	予算額(円)	説明(内訳・算出根拠)
	区社協独自助成金	60,000	あさひ子どもの未来応援助成金
	利用料収入	84,500	子ども@50×10名×13回 大人@300×20名×13回
	地区社協助成金	10,000	賛助会費
収入合計		154,500	

支出	科目	予算額(円)	説明(内訳・算出根拠)
	食材費	130,000	食材費@10,000×13回
	保険料	18,200	ボランティア行事用保険 @28×50名×13回
	印刷費	1,000	@10×100部
	物品購入費	5,300	文具、衛生用品購入費
支出合計		154,500	※助成額以上となること

※収入・支出の合計額は同額になります。説明欄には、内訳・算出根拠を詳しくご記入ください。